



1年生学級活動の授業

本日20日(月)は、1年2組で学級活動の授業がありました。今回の授業は、「きらきらるーう集会をしよう」という議題でした。子供たちは、集会活動を「きらきらるーう集会」と名付け、自分たちで考えた1年2組オリジナルの集会活動を行ってきました。今回は、学級目標の「ちからをあわせて」に近づくための話し合い活動を行いました。提案理由には、「『きらきらるーう集会』をすることで、みんなが助け合っ楽しくなり、学級目標の『力をあわせて』にもっと近づけるとおもうからです。」という子供たちの思いが溢れていました。実は、学級活動は、話し合いで決まったことを、みんなで役割を分担して準備して実践していくのですが、1年生の実態を考えて、今回は話し合っ決めたことを、その時間にやっってしまうという新しい提案でした。よく、「1年生だから話し合いは、難しい。」「1年生だから、話し合いのルールもよく分からない。」という声が聞かれます。しかし、1年生でも話し合いの経験を積むことで、話し合いは成立するのです。1年生なりの意見が出し合われ、ときには聞いている大人が感心するほどの意見を出します。今回の学級会の中でも友達の意見と比べあうときでも「『積み木タワー』がいいと思います。わけは、みんなで楽しく力を合わせることができからです。」「『ひざの椅子取りゲーム』がいいと思います。この前は負けたけど、力を合わせて楽しくできたからです。」「『積み木タワー』には反対です。わけは、崩れた時に集中力が続かないからです。」などの意見を聞くことができました。また、友達が意見を発表すると「いいね。それ気づかなかったよ。」と自分なりの感想を口にしていました。そして、折り合いをつけながら話し合っ決まった集会の内容は「ひざの椅子取りゲーム」でした。

子供たちは、「ひざの椅子取りゲーム」をグループで力を合わせて取り組み、とても楽しい時間を過ごしていました。集会を終えると振り返りを行い、「🟢帯西グリーンの心が伸びました。わけは、みんな笑顔でできたからです。」「🟡帯西ブルーの心が伸びました。わけは、20秒で座れてすごいなあと思ったからです。」と実感を伴った感想を言うことができました。

今回の学級活動の授業について、子供たちが帰った後に、全職員で授業研究会を行いました。職員一人一人が授業への疑問を出し合ったり、改善点を述べ合ったりしました。今回も、子供たちと職員とで帯西グリーンの心を高める方法について、しっかり考えることができる研究授業となりました。1年生の頃からの話し合いの積み重ねが、次の学年へと繋がります。また、その積み重ねが委員会活動や代表委員会などの子供たちの自治的な活動へと結び付き、帯山西小学校をより豊かで、自治的な学校へと変えていくのです。

今回の授業は1年部で共有しながら取り組んでいくそうです。1年2組の皆さん、貴重な学級活動の授業を共有させていただき、ありがとうございました。

